日刊 動労千葉

82.1.28

No.954

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！

3・6 動労千葉主催 全国労働者集会
3・28 三里塚総決起にむけ

街頭宣伝を開始

投稿 1/24 渋谷街頭宣伝に参加して（青年部C生）

日曜日の渋谷ハチ公前は、若い男女が待ち合わせのためかごったがえしている。東京実行委員会は3・28三里塚10万人決起へむけ、大胆な街頭宣伝にうって出た。1月24日、動労千葉は青年部を中心に「3・6全国労働者集会」への結集を訴えるビラ数千枚を用意して、この渋谷駅前広場での街頭宣伝活動に参加した。

右翼が出てきた

すると天皇制右翼・勝共連合が、まるで善人づらをして妨害してきた。東京実行委の宣伝カーの真横に、彼らは宣伝カーをのりつけてきた。右翼のマイクのボリュームの大きさに、何事だろうと、通行人も足をとめ、われわれの宣伝隊の周りに続々と輪をつくり出した。

実行委員会からの発言が続く。右翼・勝共連合は、差別用語を連呼しながら、しつこく妨害を続ける。緊張が渋谷駅前をおおう。それまで右翼の妨害を見て見ぬふりをしていた警官が、こわばった顔で周囲をとりまく。民衆の輪は、どんどん拡がる。

民衆自身の歴史選択が、大胆に進行していく。われわれの訴えにじっと聴き入り、時おり拍手で応える人もいる。右翼のえげつない妨害を眼の前にして、民衆自身が怒りをあらわにして、逆に、実行委員会からの訴えを必死に聴きとろうとしている。ジリジリと右翼の宣伝カーにつめよった民衆の重圧に押された天皇制右翼は、遂に退散してしまった。

民衆は右翼を撃退した

3時間が過ぎた。集会は戦闘性をおびて続けられている。

ロック・バンドが反戦アピールを含めた躍動感に満ちた音楽を演奏する。エレキやサックス、ドラムのパワーに、勝共連合は敗北を自認し、「演説」を止めてしまった。すると、またどろ天皇制右翼が宣伝カーで妨害に出てきた。ステージのすぐ後ろに宣伝カーを乗りつけて、軍艦マーチをがんがんがなり立てるのだ。

対峙する緊張が続く。ロックバンドは演奏を止めない・軍艦マーチを圧するロックのリズムに民衆の緊張感が完全に一つになってしまった。あちこちから手拍子がおこり、若者が身体でリズムをとる。渋谷駅前広場は人波で埋め尽され、大声を大空に向けて発する解放感が十二分に実感できる。

動労千葉も訴えた

演奏が終るが感動は止まらない。この日の街頭宣伝に参加した動労千葉の青年部がナッパ服で登壇し、反戦・反合・三里塚を闘う労働運動を強化して、世の中を変えよう、と訴える。

最初の発言に立った青年部員のA君は、隣りで妨害している勝共連合などになめられてたまるか！アジア人民を虐殺してきた日帝をどうして許せるのか！今こそ反戦の闘いに決起しよう。それは三里塚であり、そこで勝って支配者と人民の力関係をひっくり返していこう。昨年3月ジェット延長阻止5日間ストをうちぬいた動労千葉は、更に今春、ストなし・総風服の82春闘をうち破るためにも、「反合・三里塚春闘」として決起する。そのためにも3・6津田沼に総結集し、3・28三里塚に巨万の結集を実現しよう、と檄をとばした。

駅前広場は民衆で埋った

次に登壇した動労千葉青年部員B君は、この渋谷駅前広場が、かつて70年闘争の時の人民の躍動する民衆の広場であった。今日のこの雰囲気は、それを想い起させるものだ、と感動に満ちて語りはじめた。天皇制ファシズム・勝共連合や革マルなどの右翼・反動・反革命をわれわれ自身の力でぶち破り、絶対に侵略への道を断ちきろう！そのために労働者はストライキで、学生は全学ストで闘おう。青年が闘いの先頭に立ち、一切を3・28三里塚に集中しよう！と檄をとばした。

続いて、教育労働者から、教科書改悪―改憲への道を、三里塚で断とう、と熱をこめて訴えた。

三里塚反対同盟の訴えは、全民衆の心をとらえた

発言の最後に、三里塚反対同盟より、長谷川たけさんが、今こそ三里塚は正念場である。右翼が正しいのか私たちが正しいのかはっきりさせよう、と発言したとき広場は圧倒的拍手で埋ってしまった。長谷川たけさんが退壇しようとした時、勝共連合が「三里塚は人殺しの場だ」などという断じて許せぬ演説をはじめた。怒りにふるえたたけさんは、もう一度マイクを握ると「東山君を殺したのは誰だ！核動隊のガス銃ではないか？医学鑑定でも証明されているではないか。三里塚に敵対し、戦争への道をはき清めるお前たちこそ本当の悪んだ！」と激しい口調で反論した。とりまった民衆の「そうだ！」のかけ声、圧倒的拍手。勝共連合は一瞬沈黙してしまった。

しかし、さらに勝共連合が妨害のデマ宣伝をしつこくくり返し、警官がそれを見て見ぬふりで野放しにしている状況を見きわめ、皆の怒りは頂点に達した。広場の民衆から期せずして「帰れ！帰れ！」の大合唱が拡がりだし、やがて駅前をどろかせる大シュプレヒコールに変わっていった。勝共連合は逃げ出していった。

荒々しい運動が開始された 3・6集会を成功させ、3・28総決起へ！

こうして1月24日の街頭宣伝は、我々の正義性と右翼・警察の反動性を全民衆の前で決着つけ、民衆自身が行動を開始するという状況をつくり出した。

今や荒々しい運動が新たに開始されている。70年を乗り越える質と量の一端が渋谷駅前で現実に開始された。激動の80年代にふさわしい闘いが求められていることが実感できる。

今こそ、3・28巨万の決起へむけて、われわれ動労千葉も全国へ、そして街頭へうって出よう。3・6全国労働者集会の圧倒的成功をめざして奮闘を誓い終った。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！